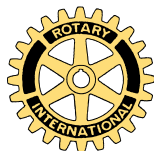


THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



創立 1954年3月8日
承認 1954年3月30日

例会日時 毎週月曜日
12:30～13:30
例会場 刈谷市新栄町3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL (0566)22-2111
FAX (0566)25-2111
メール kariyac@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 鈴木 豊
幹事 小川 耕示
会報委員長 丹羽 克誌

2013～2014年度 国際ロータリー ロンD.バートン 会長テーマ

Engage Rotary Change Lives ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第2817回例会プログラム

[当年度 = 9回目; 当月 = 2週目]

2013年(平成25年)9月9日(月)

1. 例会……………〈司会:プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム
12:30 2. 点鐘……〈会長〉
3. 開会宣言
4. ロータリーソング斉唱……我等の生業
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
6. 食事
- 12:45 7. 会長挨拶並びに会長報告
8. 幹事報告
9. 出席報告
10. 委員会報告
11. ニコニコボックス報告
12. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(9/16) ……休 会 (法定休日)
(9/23) ……休 会 (法定休日)
(9/30) ……
卓話 「フィルムコミッションと地域活性化」
講師 名城大学 人間学研究科人間学部
教授(工学博士) 水尾 衣里 様
(紹介者 杉浦世志朗 会員)

2. クラブフォーラム……………〈青少年奉仕委員会〉

- 13:00 卓話 「危機管理について(その必要性)」
講師 地区危機管理委員会
委員 黒田 勝基 様 (高浜 RC)
(紹介者 津田 鎮輔 会員)
13. 謝 辞
14. 点 鐘……〈会長〉
15. 閉会宣言
- 13:30 16. 散 会

出席

会員総数 98名 出席免除 29名
出席義務者+免除者の内例会出席者 88名
欠 席 8名 出席率 90.90%
前々回(8/26)の修正出席率 100%

幹事報告

- 1) 本日例会終了後、特別会議室にて60周年実行委員会を開催しますので、ご関係の方はご参加下さい。
- 2) ガバナー事務所より「ワールドフード+ふれ愛フェスタ」への広告協賛ならびに福引景品提供の依頼が来ています。ご協力頂ける方は事務局へ申し込み下さい。

委員会報告

●国際奉仕委員会

- 1) 書きそんじハガキの収集箱が新しく、大きくなりましたので、皆様のご協力をお願い致します。

会長あいさつ

大きな仕事に取り組み

鈴木 豊



今から20年前、ある会社を訪問したとき、朝礼で「仕事は自ら創るべきで、与えられるべきでない」に代表される電通の鬼十訓を堂々と唱和していました。その光景は軍隊調でいささかの違和感を覚えました。聞いている内に自分を鼓舞しているような錯覚にとらわれました。言葉の一つひとつが、私の胸を打ちました。十訓の中で、私の好きな言葉は「大きな仕事と取り組み、小さな仕事はおのれを小さくする」です。

電通は世界最大の広告代理店であり、鬼十訓はGHQに追放された前社長の後任として、4代目社長に就任し

た吉田秀雄が昭和27年に創設。営業マン育成の行動規範として掲げたものです。高等な人生訓ではなく、日常の仕事を進める上での訓戒集。当たり前のことができない、その激烈な言葉と成果が華々しかったため、注目を集めるようになりました。文字通り、日本の高度成長を支えた言葉です。

「大きな仕事…」は、私たちの志のあり方を意味する言葉だと私は信じています。私自身、その意気込みで仕事に取り組んできました。

とくに平成11年に ISO9001を取得するときには、その言葉の意味を痛感しました。資料を提出しても書き直しを要求され、直して提出すると、また他のところの訂正を要求されました。事務担当者は、胃を悪くして体調を崩したほどです。私自身も幾度となく挫折感を味わいました。しかし、ここで棒を折ってしまったら、企業として脱皮できない。歯を食いしばって頑張り、ISO の認証を取得しました。それは担当した事務局関係者だけでなく、当社全体を大きくレベルアップさせました。そのエネルギーは脈々と今日まで受け継がれ、14年にベトナム進出、23年に中国進出のきっかけとなりました。

クラブフォーラム

「危機管理について（その必要性）」

地区危機管理委員会

黒田 勝基 様（高浜 RC）



1. 青少年の保護 ロータリー章典
2013年度版より

ロータリープログラムで新世代奉仕（IA・RA・RYLA・青少年交換）は、国際ロータリーのプログラムです。ロータリー章典でルール等が規定されます。

2. ロータリーのゼロ容認方針（新世代（学生）を守るための、最低の要件

問題が発生した時の、RI への報告のルール（指針）

・72時間以内に、真偽は関係なく申し立てのあった時の報告のルール

いじめ隠しや、被害者当人（？）の対応の遅れを根本的に防ぐための仕組み

3. 危機管理の重要性

危機は至る所にあります。会社内、家庭内／災害、事故、病気、テロ／人災、天災

特に、この地方の災害に関しては、緊急性があります

4. 危機とはどういうもの？

対応すべき危機とは

①事故、自然災害、病気等に対するとき／事例等 それぞれに対応策を持つ必要

②ロータリー青少年育成プログラムに正式参加している学生が加害者になったとき

家庭のルール、クラブのルール／学校のルール、RI のルール／国の法律

③ボランティアが起こす虐待&ハラスメントに対応するとき

5. 危機の発生・収束メカニズム

①リスク管理、②クライシス管理、③アフターケア それぞれに仕組みが必要

6. なぜ RI が新世代奉仕に関しての危機管理指針策定を急いだか

大阪世界大会での暴露・PG の逮捕、巨額賠償が請求されている などなど

日本独特の文化的風土一酒、対応など一国際基準とのギャップ

7. 過去の危機の事例

事件・事故、全国 YE の3.11での日本の対応、ガバナーの訴追、イザコザ日本の文化と外国の文化、安全性、国際理解、

・現在、RIJYEC（全国組織）で3.11大震災を教訓に地区を超えた危機管理の仕組みを構築中です。

8. D.2760危機管理委員会の組織と危機管理対応フローチャート